

産業論 キャリア・デザイン1 レポート課題

2024年10月8日

学科：情報工学科

学籍番号：35714121

名前：福富隆大

授業内のワークや授業全体を通して大切だと思ったこと、授業の感想。

自己分析、業界研究をしっかりと自分がどんな就職をするのかをまずイメージすることが大切。

社会や企業などの人事目線で他の工学系の学生との違いなどの自分らしさを考えると自己PRを上手く書ける。

持ち味・自分らしさ、やりたいことを具体的に考えるのが、将来楽しめる仕事に就くために重要である。

社会人になったらやりたいことをできる時間は2割程度しかないので、自分がやりたくないことをやり切った経験を掘り下げていくことが大切。

PDCAをまわし、その経験で得られたものは何かを意識し、振り返ることが重要。

研究者は柔軟性とその真逆である執着心はどちらも必要である。どんな人と働きたいかや、どんなスパンの仕事をしたいかなど、今まであまり考えていなかった視点を考えるきっかけになった。

授業内容を踏まえ、今後の学生生活や自分のキャリアについての考えや思い。

まずは自己分析をして、自分らしさを見つけていく。企業研究などを通して自分が就職したい企業像をイメージする。色々なことにチャレンジして自分のできることや経験を増やしていく。今からできることは何かを調べてみてできることから少しずつやっていく。チーム開発をしていてコミュニケーションの必要性は痛感しているので、コミュニケーション能力を向上させていきたい。